消防吏員用制服
【NK－２２０１】

下田地区消防組合

消防吏員用冬制服仕様書

【上 衣】

1．型　式【EM765080】

ダブル式衿（飾り穴付き）６個釦・３つ掛け。胸ポケット付き。雨蓋付腰ポケット。階級章用台付き。袖口組紐付き（金線線）。背抜き裏仕立。

2．材　料

区分	品番	品質	摘要
表　地	NK－2201	日本毛織サージ毛 100% 36/2×36/2	表地、衿ポケット、身返し
袖　裏		レーヨン 100%	袖裏
裏　地		4号スレーキ（綿 100%）	ポケット袋
カラークロス		ウール製	主衿裏側
釦		表面彫し穴付、厚み約 6mm	前身頃　６個
袖口芯		盤（接着芯）	袖口
テープ		綿平織りテープ	前身頃端、返しの持出
片　布		指定片布	
特　品		指定の特品（ニッケ）	

3．縫製条件

（1）縫製

糸調子は、上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にすること。

（2）裁断

型入れは布目を正しく通し、全体を同一の皮でとり、番号又は記号を付けるなど充分に留意すること。

（3）仕立て

優美なスタイルと容崩れのない上級仕立てとすること。

（4）仕上げ

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

4．縫　製

（1）主衿

地衿に芯を添え、ルイスミシン掛し。表衿縁代は地衿にシツケ止めし、衿衿は、見返し部分に付け合わせとすること。

（2）衿吊り

衿中央に縫付ける。

（3）胸ポケット

上前に昼しポケット芯入り、口幅 11.5cm（標準）深さ 14cm とすること。

（4）腰ポケット

左右雨蓋付。

（5）返し止め縫い

上方から内ポケット脇まで昼飾りを入れること。

（6）ダーツ

脇１本、裏も同様。ただし袋ダーツは、縫い割り、裏ダーツは片倒しとする。

（7）見返し

衿付けから裾まで縫目無しとすること。

（8）背縫い

背抜きにつき、脇筋ち目はカラダミシンで始末すること。

（9）肩縫い

表地割り縫いとすること。

（10）袖口

袖芯（接着芯）幅 11cm の位置に袖線を縫着する。また、指示に応じて金線又は、組紐を縫着すること。

（11）階級章取り付け用面ファスナー

階級章取り付け用面ファスナーを下前身頃の指定の位置に付けること。

（12）片布

下前内ポケット口下に付けること。

（13）洗ネーム

メーカー標示マークを、下前内ポケット口上に縫着すること。

【ズボン】

1．型　式【EM765040】

長ズボン、腰ベルト（3.5cm）付、ワンタックとする。アジャスター縫着付。

天狗付きファスナー式。左右後ろポケット片玉縁雲昼し、左側のみ釦止め。

斜めポケット式。

2．材　料

区　分	品　番	品　質	摘　要
表　地	NK2201	日本毛織サージ毛 100% 36/2×36/2	表地、ループ等
腰　裏		腰裏芯入り（滑り止め付）	腰裏
裏　地		ポリエステル 65%、レーヨン 35%	ポケット袋
ファスナー		YKK ミトラ（黒）	前立
釦		（黒）	後ろポケット 前立脚

3．縫製条件

（1）縫製

糸調子は上下糸共ツレ、タルミのないように最良の調子で縫い、返し針を完全にすること。

（2）裁断

型入れは布目を通し、前身後身頃は同じロット生地を使用すること。

（3）仕立て

優美なスタイルと容崩れのない上級仕立てとする。

（4）仕上

糸くずを取り、丁寧にプレスすること。

4．縫　製

（1）腰ベルト

縦地使用で指定芯入りとすること。

（2）前タック

左右各１本を外向きに付ける。

（3）時計ポケット

斜めポケット右内側袋向当に縫り付けること。

（4）落ポケット

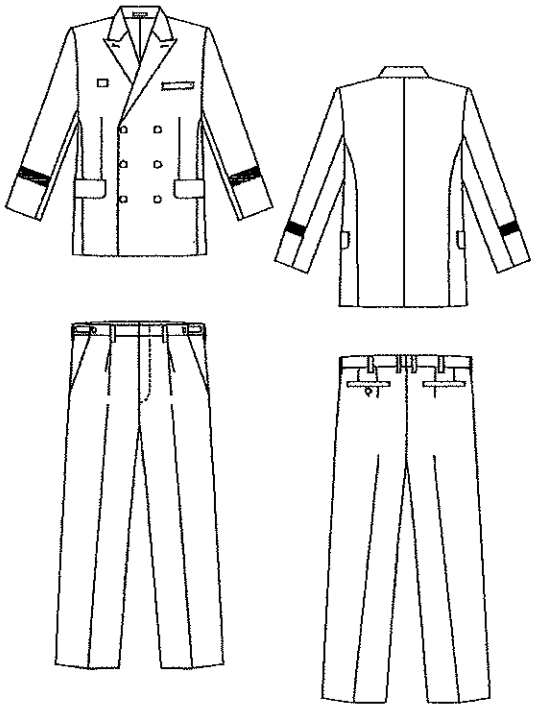
左右に各１個とする。

（5）後ポケット

左右各１個、片玉縁、雲蓋無し。左ポケットのみ釦止めとする。

（6）後ダーツ
　2本とし、地縫い片倒しとする。ウエスト100cm以上1本可。
（7）袖引き・内股・しりぐり
　裾ち目はオーバーロック。しりぐり、内股は、ミシン2回縫いとすること。
　しりぐりは、糸切れを防ぐ為に伸ばして地縫いすること。
（8）天狗・前立て
　裁ち目はオーバーロック。天狗先は、留止めとすること。
（9）バンド通し
　7本。上端より0.5cm下がり、幅3cm、長さ（有効長）4.5cmとする。
（10）脇裏
　指定脇裏とし、表地と極端の悪いように注意して所定位置に付けること。
（11）シック
　袋シック長さ10cm（標準）を付ける。
（12）裾
　縫標準、23～24.5cmとする。
（13）裁ずれ
　表地反物の耳を利用。幅約2cm、長さ15cm程度とする。

<概要図>



ネクタイ仕様書

下田地区消防組合

仕　様　書

1　品　名　ネクタイ

2　規　格　別紙仕様書のとおり

3　数　量　　本

4　納入期限　令和　年　月　日

5　納入場所　下田消防本部

下田消防本部職員用ネクタイ仕様書

第1　総則

1　目的

この仕様書は、下田消防本部（以下「当本部」という。）において購入する消防職員用のネクタイについて、必要な事項を定めることを目的とする。

2　概要

ネクタイは、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3　ネクタイの条件

このネクタイに使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4　その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、当本部と協議の上、解決すること。

第2　仕様

1　使用材料

（1）生地一般

ア　原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。

イ　織上がりは地正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものでなければならない。

（2）表生地

ポリエステル１００％（再生比率５０％以上）

2　裁断

裁断は表地、裏地、芯地ともに正バイヤスに行うものとする。

3　縫製

（1）一般的事項

ア　各部の縫合いは、優良で縫い代が適当であること。

イ　縫い目の飛び、縫いはずれがないこと。

ウ　糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりのないこと。

（2）縫製

ア　裏地のハギは２ヶ所とし、地縫いしアイロンで割る。

イ　芯地は裏地幅に適した余裕を取り、型くずれのないように幅なりに縫い付ける。

ウ　芯付けの縫代は８ｍｍ以上とし、本縫い又はピンポイントミシンとする。

エ　ハギ縫いと、半裏地付けは、本縫いミシンを使用し、縫代を８ｍｍ以上とする。

4　型及び寸法

消防章の縫りマーク同色入りとし、ネクタイ全面部に当本部指定のオリジナルラインを織り込むもの（色及びライン形状については当本部指定）とする。

剣先付近に「ＳＨＩＭＯＤＡ　Ｆ．Ｄ.」と刺繍を施す。

寸法は、長さ１４３（±3）cm、大剣幅９（±１）cmとする。

第3　補　則

1　梱包

各個人ごとにビニール袋に収納すること。



制服（夏）仕様書

下田地区消防組合

仕　様　書

1　品　名　　夏制服

2　規　格　　別紙仕様書のとおり

3　数　量　　上　衣（長袖）　　枚
〃　（半袖）　　枚
ズボン　　本

4　納入期限　令和　年　月　日

5　納入場所　下田地区消防組合消防本部

6　証明書　　入札参加者は原反生産者の発行する原反引受証明書を入札の際に提出すること。尚、落札者は、契約締結の際に原反出荷済証明書を提出しなければならない。

7　サイズ　　落札業者の用意するサイズ取り用のゲージ棒を使用し、各個人を採寸すること。

下田地区消防組合消防吏員用夏制服仕様書

第1　総則

1　目的

この仕様書は、下田地区消防組合消防本部（以下「当本部」という。）において購入する消防吏員用の夏制服について、必要な事項を定めることを目的とする。

2　概要

夏制服は、消防吏員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3　夏制服の条件

この夏制服に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4　その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、当本部と協議の上、解決すること。

第2　仕様

1　使用材料

（1）生地一般

ア　原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。

イ　織上がりは均正で、織りキズ、糸節、汚れ等の欠点のないものでなければならない。

（2）表生地

ア　上衣

日本毛織（株）EWR45L（当本部指定色）

混紡率	毛	30．0％
	再生ポリエステル	59．5％
	麻	10．0％
	制電性繊維	0．5％

イ　ズボン及び上衣台衿裏

日本毛織（株）EWR57L（当本部指定色）

混紡率	毛	30．0％
	再生ポリエステル	59．5％
	麻	10．0％
	制電性繊維	0．5％

（3）裏地

ポリエステル100％又は、ポリエステル・綿混紡とする。

（4）芯地・マーベルト

芯地及びマーベルトは本部の承認を得たものとする。

（5）その他

ア　ボタン

尿素樹脂ボタンを上衣の前合わせ、胸ポケット雨蓋、剣ボロ、カフス、肩章、ズボンの尻ポケット、鼻天独止めに使用する。

イ　ファスナー・真金前かん

ズボンの天狗及び前立てに使用する。

ウ　縫糸

本縫い、飾り縫い、穴かがり縫いは、表生地と同系色でポリエステル100％の60番または60番とする。

2　形状

（1）上衣

上衣は、肩章付きのワイシャツ型とし、前立てボタンは6つ掛け、長袖カフス付き（または半袖）、左右胸ポケット雨蓋付きとする。

（2）ズボン

ズボンは、長ズボン、腰帯付きツータック、裾シングル、両脇・尻ポケット付き、腰廻り伸縮（拡張）式とする。

3　縫製

（1）一般的事項

ア　各部の縫合わせは、堅良で縫い代が適当であること。

イ　縫い目の飛び、縫いはずれがないこと。

ウ　外観は、縫製が優良で、傷、汚れ、縫い曲り等の欠点が目立たないこと。

エ　表面に現れる針数は特に指定する場合を除き、次のとおりとする。

（ア）本縫いミシン	12針以上／3cm間
（イ）飾り縫いミシン	12針以上／3cm間
（ウ）オーバーロック縫いミシン	8針以上／3cm間
（エ）インターロック縫いミシン	8針以上／3cm間

（オ）飾り縫い幅は、約0.5cmとし、特に指定する場合は端飾り縫いとする。

（カ）ボタン穴は、横目又は、眼り穴かがりとする。

（キ）アイロン仕上げには、十分注意すること。

（ク）接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯貼りプレス機を使用し、完全に接着すること。

（ケ）布目は、型紙の指定通りとする。

（2）上衣（半袖）

ア　衿

（ア）上衿には芯を入れ、剣先幅約7cm、後ろ中央幅約4.5cmとし、周囲を飾り縫いする。

（イ）台衿で上衿を挟み、端飾り縫いし、身頃に縫着する。

（ウ）台衿下部に衿つりを縫い付ける。

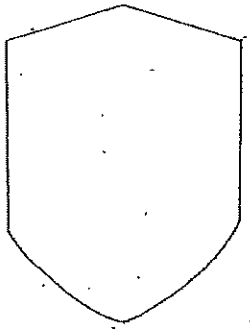
（エ）台衿裏側に配色を施す。

イ　袖及びカフス
（ア）袖は１枚袖とする。
（イ）長袖は剣ボロ付きのボタン止めとし、カフスには芯を入れ周囲を飾り縫いする。カフス幅は約 6.5 cm、剣ボロの開きは約 14 cm とし、ダブルボタン付きとする。
（ウ）半袖は三つ折の内巻きとする。
ウ　袖付け縫い
袖付けは、身頃のくりを延ばさないよう注意し、インターロックミシン縫いし、一条の押さえ縫いをする。
エ　脇縫い及び袖縫い
脇縫い及び袖縫いは、通してインターロックミシン縫いとする。
オ　胸ポケット
（ア）左右前身頃に押みヒダ付きポケットを各１個端飾り縫いで縫着する。
（イ）ポケット口は、幅約 2cm の３つ折り縫いとし、口両端はコの字かんを入れる。
（ウ）押みヒダは内ヒダとし、幅は約 2cm とする。又、ヒダの表側両端は飾り縫いとする。
（エ）雨蓋（飾りボタン付き）には芯を入れ、周囲は飾り縫いし、マジックテープ止めとする。中央幅は約 5.5cm、左右端幅は約 4.5cm とし、長さは約 14cm とする。左雨蓋の前中心側より約 1.5 cm の所に、幅約 3 cmのペン差し込み口を設ける。
（オ）ポケットの深さは、前中心側で約 14.5cm、脇縫い側で約 15cm とし、口幅は約 13cm とする。
カ　前合わせ
幅約 3.5cm の表前立て付きとし、ボタン６個掛けとする。
キ　肩章
（ア）肩章幅は約 5cm（袖付け部）で芯入りとし、周囲を飾り縫いし先端にボタン穴をかがりボタン止めとする。
（イ）肩章付けは、袖付けに挟み、縫い付ける。
ク　ヨーク
合わせヨークとし、背ヨーク中央で幅約 7cm とする。又、背ヨークで後ろ身頃を挟み縫いし、表に飾り縫いをする。
ケ　肩縫い
前ヨークで前身頃を挟み、端飾り縫いとする。
コ　プリーツ
背身頃中央に、幅約 8.5cm のアウトボックスプリーツを入れる。
サ　階級章及び階級章取付け用マジックテープ
右胸雨蓋中央上部から約１cm上に、横約 4 cm、縦約 2.5 cmのB面マジックテープを縫い付け、その上に当本部指定のプリストTK 色階級章を貼りつける。
シ　裾
裾は、約 0.3cm の三つ巻き縫いとし、高駒り型とする。
ス　片布
横約 5 cm、縦約 7 cmの当本部指定片布を下前裾に縫い付ける。

（３）スボン
ア　腰ポケット
（ア）詰めポケットを左右両脇に各１個付ける。
（イ）口当布は、最大で 2cm 以上折り返し、約 0.5 cm の飾りステッチを入れ、向当布は脇縫い月から最大で 6cm 以上とし、それぞれ袋地に縫い付ける。
（ウ）口布、向当布とも端の裁ち目はオーバーロックかがりをする。
（エ）口の下端は閂止めをし、ポケット袋は地縫い返しして飾りステッチをかけ、上端は表、裏とも必ず 1cm 以上腰帯にかかるようにし、ポケット袋の縫い付けは可能な限り最後まで縫うようにする。
イ　尻ポケット
（ア）片玉後作りとし、左右に各１個付ける。
（イ）ポケット周囲は端ミシンを掛け、口の両端は閂止めをする。
（ウ）向当布は幅 4 cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをし、袋地に縫付ける。
（エ）左のみ中央上部にボタン穴をかがり、向当布にボタンを縫い付ける。
（オ）ポケット袋は、地縫い返しし、飾りステッチをかける。
（カ）上端は、表裏とも必ず１cm以上腰帯にかかるようにする。
ウ　タック
外向きタックを、左右に各２本取る。
エ　腰ダーツ
左右腰後部に各２本取り、片倒しする。
オ　天狗及び前立て
（ア）天狗は芯を入れ、表と地縫い返しし、奥はオーバーロックかがりをする。
（イ）天狗の鼻は鳥で持ち出すか「ち」をつけ、先端にボタン穴をかがる。
（ウ）前立ては芯を入れ、表裏を地縫い返しし、奥の裁ち目は芯とともにオーバーロックかがりをする。
（エ）前立て飾りは、幅約 3.5cm とする。
（オ）天狗、前立て上部に座金前かんを付ける。位置は、腰帯幅の中央にする。
（カ）小股の上のファスナー止まりに、天狗裏側から前立てとともに円を入れる。
カ　ファスナー付け
（ア）天狗側は身頃端を折り、天狗との間にファスナーを挟み、縫い付ける。
（イ）前立て側は、前立て裏にファスナーを、２条縫いで縫い付ける。
キ　脇縫い及び内股縫い
（ア）地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
（イ）裁ち目は、オーバーロックかがりをする。
ク　尻縫い
（ア）地縫い割りとし、二重縫い又は環縫いミシンとする。
（イ）上部の縫い代は２cm以上とし、裁ち目はオーバーロックかがりをする。
ケ　腰帯
（ア）マーベルト、スレーキを使用し、前立て周両端はそれぞれ天狗と前立ての両かんの下止で入れる。
（イ）後部（筋縫い含）は、縫い割りとする。
（ウ）左右脇縫い月の箇所で、後身側の腰裏下に前身側の腰皇が入るようにする。
（エ）後身側の腰裏の下端は、脇縫いの箇所で、表生地に通して、閂止めをする。
コ　腰帯
（ア）腰は 3.5cm の腰帯付とし、脇縫いの箇所で、後身側の腰帯下に前身側の腰帯が入るようにする。
（イ）腰帯内部に伸縮テープを入れ、前身側と後身側が互いに引き合い、左右各 2.5cm 以上（ウエスト周りとして 5cm 以上）腰廻りの拡張が出来るようにする。
サ　バンド通し
（ア）前身頃タック、脇縫い、尻縫い脇、後身ポケット上の８本付けとする。
（イ）ループ作りは片側に四つ折り縫いとし、両端は端ミシン縫いし、幅約 1cm、長さ約 4.5cm とする。
（ウ）取付け位置は、ズボン上端より約１cm下がりとする。
シ　裾
裾は折り返し幅 3 cm以上のすくい縫いとする。
ス　片布
横約 5cm、縦約 7cm の当本部指定片布を左脇ポケット袋地に縫い付ける。

第８　補　則
１　梱　包
プレス後、適切な方法で折り、各個人のサイズごとに上衣、ズボンを組み合わせた状態でビニール袋に収納すること。

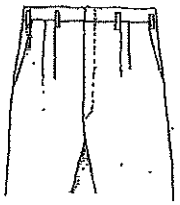
ワッペン用台座マジック形状



※実物大



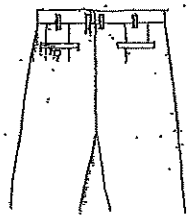
ズボン(前面)



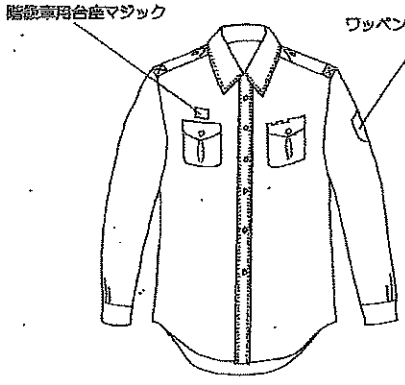
ズボン(側面)



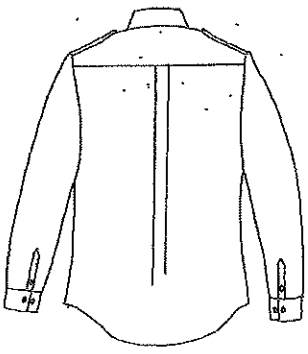
ズボン(後面)



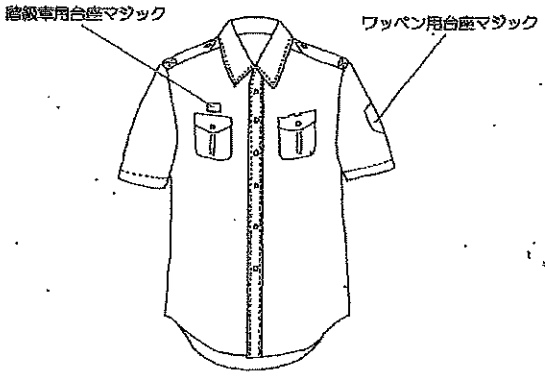
上衣（前面）



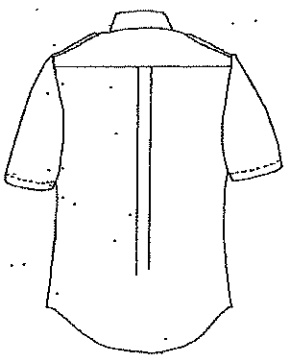
上衣（後面）



上衣（前面）



上衣（後面）



制帽（夏）仕様書

仕　様　書

1　品　名　　夏制帽

2　規　格　　別紙仕様書のとおり

3　数　量　　　　個

4　納入期限　令和　　年　　月　　日

5　納入場所　下田地区消防組合消防本部

6　証明書　　入札参加者は原反生産者の発行する原反引受証明書を入札の際に提出する事。尚、落札者は、契約締結の際に原反出荷済証明書を提出しなければならない。

7　サイズ　　落札業者の用意するサイズ取り用のゲージ帽を使用し、各個人を採寸すること。

下田地区消防組合

下田地区消防組合消防吏員用夏制帽仕様書

第1　総則

1　目的

この仕様書は、下田地区消防組合消防本部（以下「当本部」という。）において購入する消防吏員用の夏制帽について、必要な事項を定めることを目的とする。

2　概要

夏制帽は、消防吏員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3　夏制帽の条件

この夏制帽に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4　その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、当本部と協議の上、解決すること。

第2　仕様

1　使用材料

（1）生地一般

ア　原糸は糸ムラ、糸手ムラ、染りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。

イ　織上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものでなければならない。

（2）表生地

日本毛織（株）EWR571（当本部指定色）

混紡率	毛	30．0％
	再生ポリエステル	59．5％
	麻	10．0％
	制電性繊維	0．5％

（3）縫糸

表生地と同系色でポリエステル100％の80番及び50番とする。

（4）頭錠

指定色のクルミ型とし両端には、金色の消防官徽章（15mm ネジ足式）を付ける。

（5）前章

本体の表生地で台座を包み、モール製の銀色消防官徽章を中心にし、左右に金色の8枚葉を付けたものを縫い付ける。

（6）スベリ

黒色のポリウレタンとし、活性炭含浸素材とする。

（7）庇

指定色のレザー仕上げとする。

（8）周章

指定色の織地テープを使用する。上下を折り返しし、使用幅40mmになるよう仕上げる。

（9）前立

綿綾2本入りのものを使用し、帯及び天井パッキンは、ポリエチレン製とする。

2　縫製

（1）一般的事項

ア　各部の縫合いは、優良で縫い代が適当であること。

イ　縫い目の飛び、縫いはずれがないこと。

ウ　糸調子は、縫い目が優良で、縫い曲がりのないこと。

（2）その他

ア　天井は汚損よけのビニールシート（指定サイズ）を縫い付け、名札入れポケットを接着する。

イ　マチ縫いは前面2枚、後面2枚を縫い合わせ、両端に縫りミシンをかける。前面にマチ芯を入れ、裏地を縫い付ける。

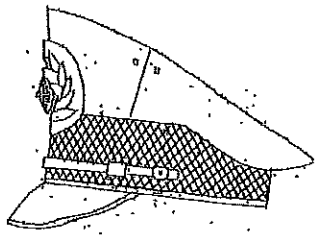
ウ　通風穴は、マチの両側に指定色の捨目穴各2個を付ける。

エ　特に形状全体の優美さに留意すること。

第3　梱包

1　梱包

各個人ごとにビニール袋に収納すること。



消防用紳士ベルト
【署バックル】

1．ベルト部
　材質　：表面　　本皮製
　裏面　　ポリ塩化ビニール
　寸法　：（標準）３．０m/m×３０m/m　（厚さ×幅）
　先端部は半円形とする

2．バックル部
　材質　：本体　　亜鉛ダイキャスト
　　署マーク　真鍮材　（　銅・亜鉛の合金）
　メッキ：本体　　ニッケルメッキ
　　署マーク　金メッキ

3．アジャスター部
　（標準）直径３．０m/m、２５m/m 間隔で３個とする

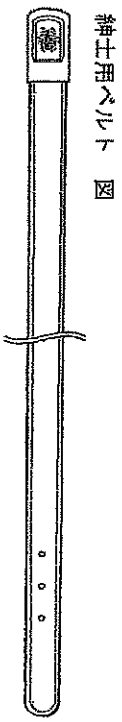
4．色相
　表面、裏面とも黒色とする

5．寸法
　並尺は１００cm 長尺は１２０cm とする事

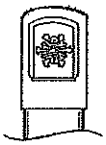
6．その他
　ベルトとバックル部は着脱可能、且つ伸縮調整の出来るものとする

下田地区消防組合

紳士用ベルト　図



バックル　図



制服（冬）女性用　仕様書

下田地区消防組合

第１総則

１　目的

この仕様書は、下田消防本部(以下「当本部」という。)において購入する冬制服について必要な事項を定めることを目的とする。

２　冬服は消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

３　冬服の条件

冬服は、十分に品質管理を行った材料及び付属品を用いた、仕上がりが優美な製品であること。

４　品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正を図ること。

５　サイズ

各個人を採寸し、個人仕立てのものとする。

６　その他

この仕様書の内容について疑惑が生じた場合は、当本部と協議の上、解決すること。

第２仕様

１材料

（１）生地一般

ア　原糸は、糸ムラ、番手ムラ、撚りムラなど目立たない良質のものを使用する。

イ　織り上がりは、均整で、織りキズ、糸筋、汚れなどの品質を損なう欠点がないものとする。

（２）生地

日本毛織　8400サージ　紺　又は　６００Ｅ紺もしくは同等以上

混紡率　　ウール　　１００％

２　形状

ピークドラペルダブル６つボタンがけ、センターベント総裏付きとし、

スカートは左前脇ワンポックスプリーツ、裾ロルイス仕上げ、右脇スリットポケット、総裏付きとする。

３　縫製

（１）一般

ア　各部の縫製は、縫い目の飛び、はずれがない優良なものとする。

イ　縫い代は、各部分に適した十分なものとする。

ウ　糸調子は、縫い目が均一で縫い曲がりが目立たないものとする。

エ　縫い目は、次の数値を標準とする。

地縫い運針数　　１２針以上/３ｃｍ間

飾りステッチ　　１２針以上/３ｃｍ間

オ　飾りステッチ幅は、０．５ｃｍ幅と端ミシンとする。

カ　飾りステッチは、表ミシンとする。

キ　ボタン穴は、ミシン穴かがりとする。

ク　各部の合標、曲線縫いは、縫い合わせにずれがないようにする。

ケ　アイロン仕上げは、品質管理を損なわないようにする。

コ　接着芯を使用する部分は、すべて高圧加熱式芯張りプレス機を用いて前面接着をする。

サ　布目は、パターン指定どおりにする。

（２）上衣

ア　衿巾は中央で約 62mm、衿先巾約 45mmとする。

イ　左胸に口巾約 100mmの箱ポケットを取付け、左胸には、共生地にて階級章を取付けられるように施す。

ウ　左右腰ポケットは両玉縁切替フラップ付きとし、フラップ裏には裏地を使用する。

エ　肩パットにはゆき綿を使用すること。

オ　前身頃は綿腹切替えとする。

カ　背中中心は割縫いとし、裾にはセンターベントを設けること。

キ　袖は二枚袖としすべてに黒色紋織線 30mmのもの１条を、消防士長以上の階級は銀色、消防司令補以上の階級は金色の巾 5mmのモール蛇腹を、司令以上の階級は金属製金色消防徽章を各規定とおり付ける。

ク　裏地は、前身頃、後身頃全面、袖全面、フラップ裏、内ポケット、三角布に使用する。

ケ　内ポケット口は三角布を付け、眠り穴かがりをもうける。口巾約 120mmのボタン止めとする。

コ　前合わせは、女性用とし二ッ掛け六ッ釦とする。

サ　片布は当本部指定場所に縫い付ける。

（３）ズボン

ア　ミシン目　　10mm間に５針以上、飾り縫いも同じとする。

イ　裏　　ひざ裏地を最上部より付ける。

ウ　ポケット　　脇ポケットは左右２個とし、口巾 150mmとする。
尻ポケットは左右口巾 140mm～150mmとし、左側はボタン止めとする。

エ　バンド通し　　巾約 12mm９本とする。

オ　裾口　　折返し分 50mm以上とし、すくい又はまつり縫いとする。

カ　タック　　前タック外倒しに１本つける。

キ　前立　　前カン及びチャク共に隠し付ける。

ク　ウエスト　　黒色のアジャスターを取り付ける。又は、伸縮脇ゴム式アジャスターとする。(注入式)

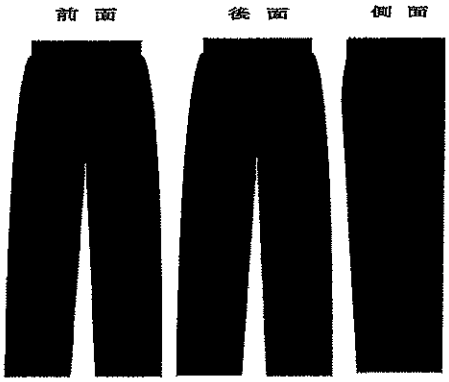
ズボンサイズ表

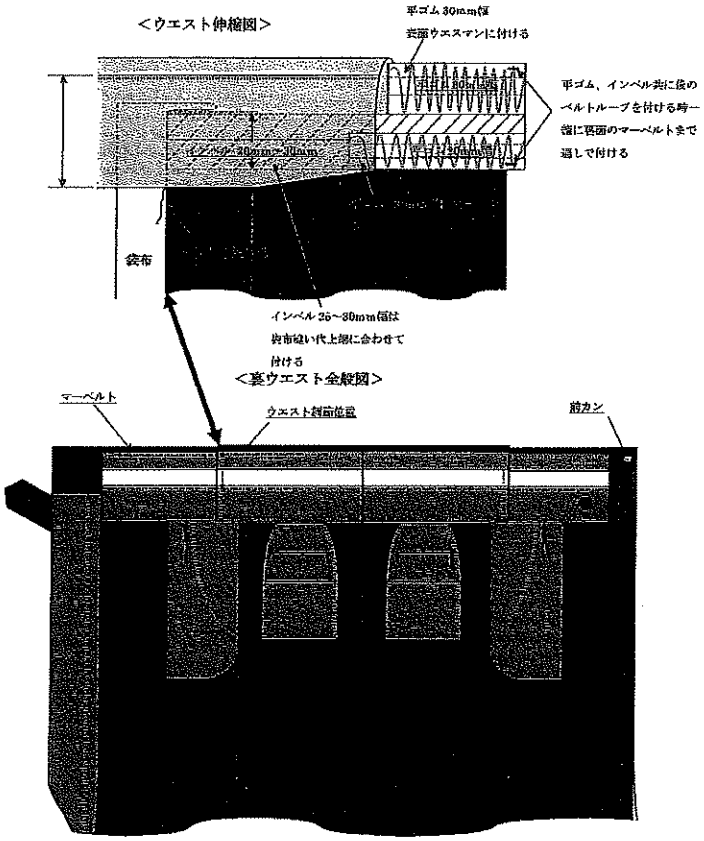
サイズ	ウエスト	ワタリ巾	裾口	股下
1号	70	33.5	23	74
2号	73	34	23	74
3号	76	34.5	24	74
4号	79	35.5	24	74
5号	82	36	24	74
6号	85	36	24	74
7号	88	37	24	74
8号	91	38	25	74
9号	95	39	25	74
10号	100	41	25	74
11号	105	42.5	25	74
12号	110	44	26	74

上衣サイズ表

サイズ	バスト	肩幅	着丈	袖丈
7号	97	40	64	53
9号	100	41	64	53
11号	103	42	65	54
13号	106	43	65	54
15号	110	44	66	55
17号	114	45	66	55
19号	118	45.5	67	56
21号	122	46	67	56


前面
後面


前面
後面
側面


＜ウエスト伸縮図＞
平ゴム30mm幅
表面ウエストマンに付ける
平ゴム、インベル共に後の
ベルトループを付ける時一
緒に裏面のマーベルトまで
通して付ける
袋布
インベル25~30mm幅は
表布縫い代上部に合わせて
付ける
＜裏ウエスト全般図＞
マーベルト
ウエスト縫目位置
前カン

冬制帽（冬）女性用　仕様書

下田地区消防組合

下田消防本部職員用冬制帽（女性用）仕様書

第１　総則

１　目的

この仕様書は、下田消防本部（以下「当本部」という。）において購入する消防職員用の冬制帽について、必要な事項を定めることを目的とする。

２　概要

冬制帽は、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

３　冬制帽の条件

この冬制帽に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

４　その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、消防本部と協議の上、解決すること。

第２　仕様

１　使用材料

（1）生地一般

ア　原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。

イ　織上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものでなければならない。

第３　表生地

日本毛織　S400サージ　紺　又は　６００Ｅ紺または同等以上

混紡率　ウール　１００％

(1) リボン

レーヨン、グログラン織、紺色、幅３９㎜

(2) すべり　（頭内汗止め）

レーヨン、黒色、幅２４㎜

(3) 掛　（顎止め）

金属、黒色、幅２８㎜、全体長２９㎜、足長２７㎜

(4) 縫い糸

ポリエステル糸６０番

(5) その他

帽章、片布

１　縫製及び加工

(1) 寸法

寸法は仕上がり寸法とする。

(2) 頭

麻混紡地を固め樹脂加工を行い木型にて頭の形に成型する。

(3) つば

つば端の周囲を約７㎜上に折り返してミシンで縫い付ける。

(4) すべり及びゴム紐

すべりは内側頭回りにミシンで縫い付ける。ゴム紐を掛の根本後部に取り付ける。

(5) リボン

下端をつば元に密着して前面中央にリボン飾りを付ける。

(6) 掛

内側頭回りの左右中央に取り付ける。

(7) 帽章

帽章の中央下端がリボン飾りの上端と接する位置に取り付ける。

(8) 片布

すべり上端の裏側に縫い付ける。

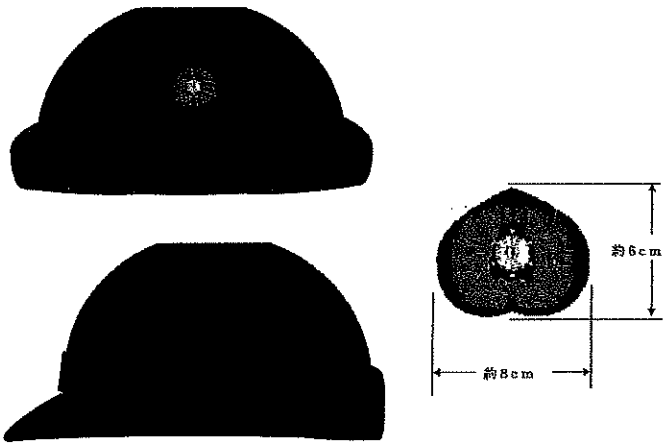
２　仕上げ及び包装

糸くずを取り各納入先に箱、袋等で分け表面に品名、明細を表示する。

３　寸法

（単位：　cm）

サイズ	１号	２号	３号	４号	５号	６号
寸　法	５９	５８	５７	５６	５５	５４



制帽（夏）女性用　仕様書

下田地区消防組合

第１　総則

１　目的

この仕様書は、下田消防本部（以下「当本部」という。）において購入する消防職員用の夏制帽について、必要な事項を定めることを目的とする。

２　概要

夏制帽は、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

３　夏制帽の条件

この夏制帽に使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

４　その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、消防本部と協議の上、解決すること。

第２　仕様

１　使用材料

（１）生地一般

ア　原糸は糸ムラ、番手ムラ、撚りムラ等の目立たない良質のものを使用すること。

イ　織上がりは均正で、織キズ、糸節、汚れ等の欠点のないものでなければならない。

（２）表生地

試験項目			規　格	試験方法
混用率（%）			再生ポリエステル 85% 麻 15%	JIS L 1030
色相			青（指定色） 色相 5.9 PB 明度 1.4 彩度 2.1	マンセル記
質量（g/㎡）			70以上	
厚さ（mm）			0.5以上	JIS L 1076 A法
染色堅ろう度（級）	耐光		4以上	JIS L 0842
	耐水		3以上	JIS L 0846
	汗	酸	4以上	JIS L 0848 A法
		アルカリ	4以上	

(1) リボン

レーヨン、グログラン織、青色、幅３９㎜

(2) すべり　（頭内汗止め）

レーヨン、黒色、幅２４㎜

(3) 錦　（髪止め）

金属、黒色、幅２８㎜、全体長２９㎜、足長２７㎜

(4) 縫い糸

ポリエステル糸６０番

(5) その他

帽章、片布

１　縫製及び加工

(1) 寸法

寸法は仕上がり寸法とする。

(2) 頭

麻混紡地を固め樹脂加工を行い木型にて頭の形に成型する。

(3) つば

つば端の周囲を約７㎜上に折り返してミシンで縫い付ける。

(4) すべり及びゴム紐

すべりは内側頭回りにミシンで縫い付ける。ゴム紐を錦の根本後部に取り付ける。

(5) リボン

下端をつば元に密着して前面中央にリボン飾りを付ける。

(6) 錦

内側頭回りの左右中央に取り付ける。

(7) 帽章

帽章の中央下端がリボン飾りの上端と接する位置に取り付ける。

(8) 片布

すべり上端の裏側に縫い付ける。

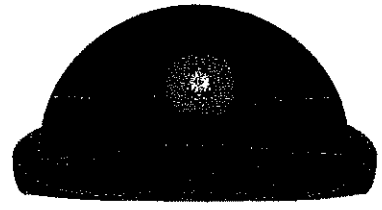
２　仕上げ及び包装

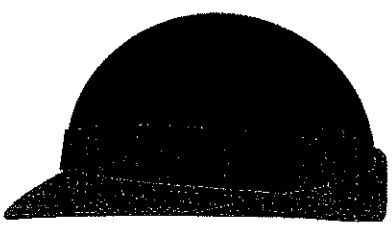
糸くずを取り各納入先に箱、袋等で分け表面に品名、明細を表示する。

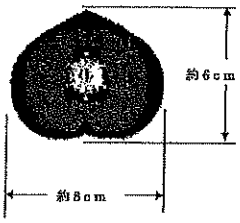
３　寸法

（単位：　cm）

サイズ	1号	2号	3号	4号	5号	6号
寸法	59	58	57	56	55	54







組合章（夏制服用）（活動服用）仕様書

下田地区消防組合

仕　様　書

1　品　名　　ワッペン

2　規　格　　別紙仕様書のとおり

3　数　量　　　　枚

4　納入期限　令和　　年　　月　　日

5　納入場所　　消防本部

消防本部職員用ワッペン仕様書

第1　　総則

1　　目的

この仕様書は、　　消防本部（以下「当本部」という。）において購入する消防職員用のワッペンについて、必要な事項を定めることを目的とする。

2　　概要

ワッペンは、消防職員が着用する物件であり、消防活動に適するものであること。

3　　ワッペンの条件

このワッペンに使用する材料・付属品は、全般にわたって十分に検査が行われ、この仕様書のすべてを満たし、仕上がりが優良な製品であること。

4　　その他

この仕様書の内容について、疑義が生じた場合は、当本部と協議の上、解決すること。

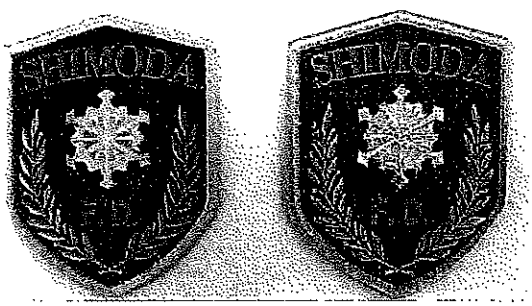
第2　　仕様

1　　型式

当本部指定刺繍（色）型（右側図）　当本部指定D2型（左側図）

2　　その他

ワッペンの裏面全体に当本部指定色のマジックテープA面を、ワッペン本体と共にロックする。



2012年5月7日
仕様書番号F-15-11-0

製品仕様書
「防火靴ＳＧ－ＡＯ型」

下田地区消防組合

2012年5月7日
仕様書番号F-15-11-0

1．概要
本仕様書は、「防火靴ＳＧ－ＡＯ型」（以下、長靴という）について規定する。

2．適用規格
・ＪＩＳ Ｔ ８１０３（静電気帯電防止靴）
帯電防止性能区分：ＥＤ（一般静電靴）
防護性能区分　：Ｐ（安全靴）
甲皮区分　：非弱酸性ゴム製
底皮と、表底は耐油性ゴムを使用する。
環境区分　：ＣＳ
作業区分　：Ｌ（軽作業用）
底皮と、先しん性能はＳ（普通作業用）とする。
付加的性能　：Ｐ（耐踏抜き性）

・消防団員用個人防火装備のあり方に関する検討会報告書（個人防火装備のガイドライン）
第２章 第３節 長ゴム製

3．品質
3－1．外観
1）表底、甲皮、その他の接合部分の造りが良好でかつ、木疵れもなく、ゴムはがれ、ゴム焼きなどの欠点がないこと。

2）付属品（ひも、とじめ、ファスナーなど）の付け方が堅固であること。

3）使用上有害な傷、亀裂、鼻、気泡、異物の混入、その他これらに類する欠点がないこと。

4）目立って外観を損なうような汚点、汚れ、模様の不鮮明、その他の欠点がないこと。

5）表面には、使用目的に適合した滑り止め、その他の型状があること。

6）裏布は脱ぢらのないものであること。

7）ファスナー仕様脱しやすい様に可能な範囲で緩めにすること。

2012年5月7日
仕様書番号F-15-11-0

3－2．性能
長靴は表１に 示す規格に適合しなければならない。

表1

試験項目		性能	規格	試験方法
甲皮の試験	引張試験	引張強さMPa	9 以上	JIS K 6251
		伸び%	８５０ 以上	
	老化試験	引張強さの変化率%	－２０～＋２０	JIS K 6257
	吸水試験	体積変化率%	１２ 以下	JIS K 6258
	耐摩耗性	相対体積mm³	２５０ 未満	ISO 4649 A法
	耐屈曲性	屈曲回数30,000回での亀裂長さmm	４ 未満	ISO 20344
甲皮の試験	引張試験	引張強さMPa	１３ 以上	JIS K 6251
		伸び%	４２０ 以上	
	老化試験	引張強さの変化率%	－２０～＋２０	JIS K 6257
	耐屈曲性	屈曲回数125,000回で亀裂のないこと		ISO 20344附属書E
耐化学薬品性能	塩化化学薬品浸透性	塩化甲苯（40%NaOH、30%H₂SO₄、30%H₂O₂、パラフィン100%）	侵出>８０ 底面への浸透無し	ISO 6530
耐滑・耐踏抜き性	耐滑性	滑走・踏ん張り時間s	２ 以下	ISO 15005 A法 又はJIS T 8022
		欠ぬき、変形、溶解不可		
	熱伝達（放射熱）	１０分後	裏底温度 42℃未満	ISO 20345
		１５分後	裏底温度 55℃未満	
		２０分後	劣化がないこと	
	熱伝達（放射熱ばく露）	放射熱伝達指数RHTI24 s	１８ 以上	ISO 6942又は JIS T 8020
		放射熱伝達指数RHTI24とRHTI12の差 s	４ 以上	
		平均熱通過率 %	５０ 以下	
	耐熱性	１８０℃、５分で溶融、滴下、分解、発火のないこと、収縮率は５%以下であること		ISO 17493 又は JIS T 8023
	耐熱性（縫糸・芯）	１８０℃、５分で溶融、滴下、分解、発火のないこと、		
踏抜き防止板	耐屈曲性	屈曲回数30,000回で目に見える亀裂のないこと		EN344
完成品の試験	逆戻り防止試験	逆戻して気泡が出ないこと。		JIS T 8101
	圧縮試験及び衝撃試験	寸法（cm）	踏荷（mm）	JIS T 8101 作業区分 S 衝圧速10KN、衝撃7kg
		２３．０以下	１２．５ 以上	
		２３．５～２４．５	１３．０ 以上	
		２５．０～２５．５	１３．５ 以上	
		２６．０～２７．０	１４．０ 以上	
		２７．５～２８．５	１４．５ 以上	
		２９．０以上	１５．８ 以上	
	踏抜き試験	荷重 N	１１００ 以上	JIS T 8101
	突き刺し抵抗	くるぶし上辺及び底周辺部 貫通量N	１９６ 以上	JIS T 8101に準拠
		内踏まず部 貫通量N	９８０ 以上	
	かかと部の衝撃エネルギー吸収試験	かかと部の衝撃エネルギー吸収値 J	２０ 以上	JIS T 8101
	静電気帯電防止性能試験	電気抵抗値（R） Ω	測定温度：２３±２℃ ），0×10⁷≦R≦），0×10⁸ 測定湿度：０*3。 1.0×10⁵≦R≦3.0×10⁹	JIS T 8103 帯電区分：ＣＳ

2012年5月7日
仕様書番号F-15-11-0

4．寸法
（1）形状：長靴の形状は付図１を標準とする。

（2）厚さ：長靴の各部の厚さは表２に規定する。

表2　（単位mm）

部位	底皮	甲皮
	表底部	
厚さ	２．５以上	１．２以上

（3）サイズ：長靴のサイズは表３（ＪＩＳ Ｓ ５０３７）に規定する。
但し、足囲は中敷を含まない時の値である。

表3

サイズ	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0		30.0
足囲	EEE															

（4）寸法：長靴の寸法は表４に規定する。

表4　（単位cm）公差±１．５cm

サイズ	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0		30.0
前寸	３３．０			３４．０			３５．０									
後寸	３２．０			３３．０			３４．０									

（5）表底サイズ区分：表底の意匠タイプのサイズ区分を表５に規定する
意匠パターンは付図２，３（意匠底ビターン）参照

表5

サイズ	22.5	23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	28.5	29.0		30.0
底型区	５Ｋ－２型														US-24型	

5．仕様材料
　長靴の各部の材料は表5のとおりとする。

表5

使用部分	材料
甲被ゴム	加硫ゴム
表底	導電性加硫ゴム
キックスタンド	加硫ゴム
裏布	スフメリヤス＃20／1200本（グレー）
くるぶし・底周辺補強	アラミド繊維フェルト
踏抜き防止板	ステンレス板（バネ材）厚さ0．5±0.03mm 長靴サイズ毎に1サイズ防止板が割り振られ、中底に対して全面カバーすること。
踏み付け踏抜き防止板	ステンレス板　　厚さ0．6±0.07mm
先しん	繊維先しん（ＪＩＳＴ８１０１（保温区分S）
裏地	ナイロン taffeta 160±10 n/m
ファスナー	8CNCDADHR1 黒 直引き手の簡単しにくい形状で表る事（付図7ファスナー引き手参照）
ファスナー袋	断裁加工処理・止め金具付
中敷き	導電性カップインソール（黒）
反射テープ	色調：黄色
ＪＩＳマーク	ＪＩＳＴ８１０３（静電気帯電防止靴）検証試験器：CERI ED－P／CS／非耐油性ゴム製／L／P

6．包装及び表示
　（1）右足に静電検査合格票を入れ、1足づつ袋に入れる。

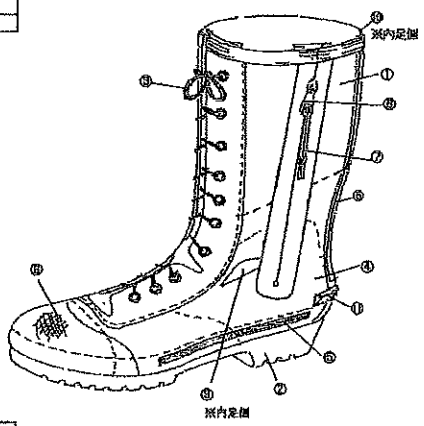
　（2）品名・サイズ等を表示する。
　　品名「防火靴ＳＧ－ＡＯ型」

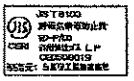
　（3）ＪＩＳに適合する表示
　　ＪＩＳＴ８１０３（静電気帯電防止靴）合格品であり、以下の項目を明記しなければならない。
　　（製品及び最小販包）
　　a）ＪＩＳ認証マーク
　　b）ＪＩＳ認証機関名（＝CERI）
　　c）ＪＩＳの規格番号及び名称
　　d）種類又はその記号
　　e）用途区分又はその記号
　　f）靴サイズ
　　g）製造業者名又は略号
　　h）製造年月又はその記号

付　図1（全体図）

注：概略参考図です。

No	部　位
①	甲被
②	表底
③	裏地
④	くるぶし・底周辺補強
⑤	反射テープ
⑥	先しん
⑦	ファスナー袋
⑧	ファスナー
⑨	踏み付け踏抜き防止板
⑩	ＪＩＳマーク
⑪	キックスタンド



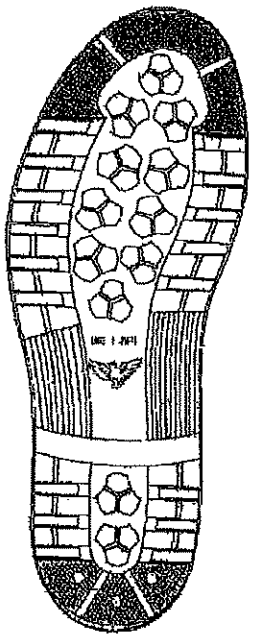


（ＪＩＳマーク）

※色調は、ゴムベース色 黄色
　印字色　　黒色．

付　図2（外底意匠パターン）　22.5～29.0cm用

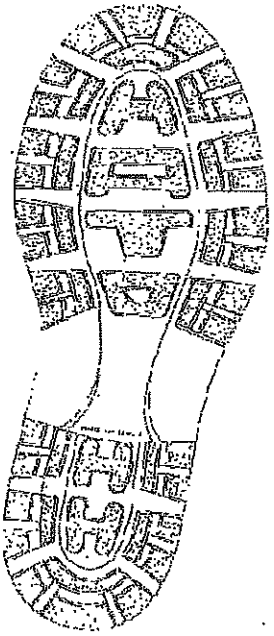
注：概略参考図です。



22．5～29．0cm

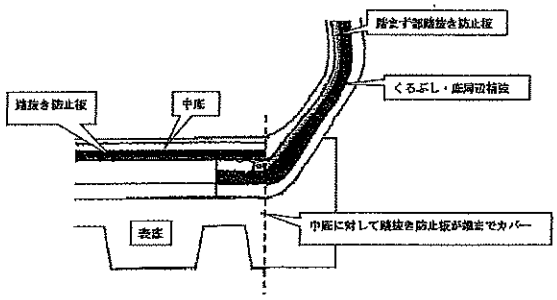
付　図3（外底意匠パターン）　30.0cm用

注：概略参考図です。

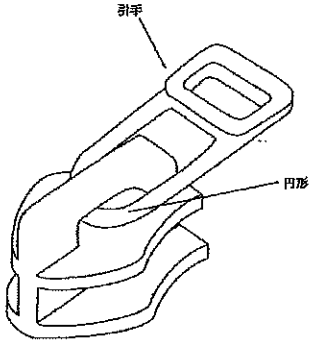


30．0cm

付図4（くるぶし・底周辺補強，踏抜き防止板，踏まず部踏抜き防止板構造）



付図5（ファスナー引き手図）



5511M 下田消防本部 静電靴

仕様書

《 改訂履歴 》

制定・改訂年月日	改訂内容	承 認
2013年11月1日	・新規制定。	水 上
2013年11月27日	・下田市消防本部→下田消防本部への変更。 ・表紙ロゴ、制定・改訂年月日の削除。	水上 13.11.27

1 適用範囲

この仕様書は、静電気帯電防止機能を有する下田消防本部向けの紳士用短靴（以下靴という）について適用する。

2 製法

JIS T 8103「静電気帯電防止靴」一般静電靴、環境区分 3 合格品 とし、靴の製法はセメント式製法によるものとする。

3 靴の形状

靴の形状は、外羽根式短靴とする。（付図 1 参照）

4 品名

品名及びJIS T 8103「静電気帯電防止靴」に基づく種類・記号は表 1 の通りとする。

表 1

品 名	種 類	記 号
5511M 下田消防本部 静電靴	一般静電作業靴 環境区分 3 革 製	BD-W C3 －

5 性能

靴の性能は、表 2 の規格に適合するものとする。

表 2

項 目	規 格	試 験 方 法
静電気帯電防止性能	23±2℃：$1\times10^5\Omega \leqq R \leqq 1\times10^8\Omega$ 0±2℃ ：$1\times10^5\Omega \leqq R \leqq 1\times10^9\Omega$	JIS T 8103 9.1による。 環境区分 3
表底の剥離抵抗	平均力 250N 以上	JIS T 8101の9.3による。

6 構造及び寸法

6.1 一般構造

靴の一般構造は、次による。

(1)軽量で履き心地がよく、作業しやすいものであること。

(2)人体に帯電する静電気を中底を通して靴底から徐逸させる構造とし、着用による摩耗、発汗による靴内部の腐蝕、汚れ等によっても帯電防止性能が保たれる安定した材料であること。

(3) 7に示す材料をもって堅固に製造し、甲革、表底その他の仕上げは入念に行い、形状は均整であること。

(4)表底は滑り止め効果のある形状である構造であり、付図の通りとする。（付図 2 参照）

6.2 寸法

(1)サイズ

靴のサイズは、表 3 の通りとする。

表 3

足長(cm)	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0
足囲(mm)	246	249	252	255	258	261	264	267	270	273

(2)靴の後部高さ

靴の後部高さは、ヒール高さを含まずヒール上縁より踝革上端までを直線に測った寸法とし、表 4 の規格に適合すること。

表 4　（許容差 ±3mm）

足長(cm)	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0
後部高さ(mm)	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70

7 使用材料

靴に使用する材料は付表の使用材料一覧表による。その他、次の各項を満足すること。

7.1 甲革

甲革はクロムなめし法により丈夫に製造した牛革を使用し、表 5 の規格に適合したものとする。

表 5

試 験 項 目		規 格	試 験 方 法
厚 さ	(mm)	1.6+0.2 −0.1	JIS K 6550 の5.1による。
銀面割れ	高さ(mm) 力 (N)	6.0 以上 150 以上	JIS K 6548による。
クロム含有量	(%)	3.0～5.5	JIS K 6550の6.9による。

7.2 先芯

先芯は、樹脂製とする。

7.3 表底

表底(踵を含む接地面)は合成ゴム製とし、表 6 の規格に適合したものとする。

表 6

試 験 項 目		規 格	試 験 方 法
引張試験	引張り強さ (MPa)	14 以上	JIS T 8101 9.10による。
	伸び (%)	300 以上	
引裂試験 引裂強さ	(N/mm)	35 以上	JIS T 8101 9.10による。
老化試験 引張強さの変化率(%)		±15以内	JIS T 8101 9.10による。
屈せき試験 体積変化率	(%)	12 以下	JIS T 8101 9.10による。

7.4 中底

中底は、柔軟かつ強靭で、製造性のある材料とする。

7.5 甲縫用糸

縫糸は、その使用目的に適合したもので、太さ及びより方は均等なものとする。

7.6 付属品

付属品は、すべて使用目的に適合したものとする。

8 製造方法

8.1 裁断

(1) 甲革の伸び、方向、傷などに注意し、つま革、腰革、市革等を裁断する。

(2) その他、付属品を裁断する。

8.2 製甲

(1) 所定の位置に、銀ペンにて当たりを付ける。

(2) 腰革後部を合わせて千鳥縫いする。

(3) 腰革に市革を貼り、一条一列で縫う。

(4) 羽根部の飾り縫いを二条一列で縫う。

(5) 腰羽後部裏側にハトメ裏補強を貼る。

(6) 腰裏(内)に腰裏(外)を貼り、一条一列でハギ縫いをする。

(7) 腰革に腰裏を貼り、腰羽根部・履口縫いを一条一列で縫い、腰裏をさらう。

(8) 腰羽根部に#150で穴開けする。

(9) つま革に先芯・ベロ裏を貼り、ベロを一条一列で縫い、ベロ裏をさらう。

(10) つま革に腰革を貼り、カン抜き縫いを一条二列で縫う。

(11) ハトメ穴に靴紐を通し、結束する。

(12) 製甲(アッパー)最後での仕上げをする。

8.3 吊込み及び底付

(1) アッパーのつま先部に先芯及び月型芯を装着し、中底を仮止めした木型に被せ吊り込み機で完全につり込む。

(2) 甲革線側機で吊り込まれた部分(底付け面)の緩和ぎをする。

(3) 甲革の底付面と表底に接着剤を塗布し、乾燥・活性化後、圧着機で接着する。

(4) 靴型を抜く。

8.4 仕上げ

(1) 接着剤の汚れや甲革の汚れを落とし、仕上げ剤を塗布する。

(2) 中敷を貼る。

9 検査

(1) 静電気帯電防止性能試験は、JIS8103に規定する方法(環境区分3)により抜取検査で実施する。また、JIST8103:1983年版に規定する第2試験方法により全数検査を行う。結果は「静電靴試験票」に記入し、靴に添付する。

(2) 検査は合理的な方法により行い、5～7の規定に適合すること。

10 包装及び表示

10.1 包装

(1) 靴は保形材を入れ、包装紙に包み、1足毎に個装箱に入れる。

(2) 10足を段ボール箱1ケースに入れ、梱包する。

10.2 表示

(1)靴には、JISマーク及び認証機関略号、日本工業規格の番号、日本工業規格の名称、認証番号、種類又はその記号、環境区分又はその記号、靴のサイズ、製造業者名(又はその略号)及び製造年月(又はその略号)を表示する。

(2)個装箱には、品名、靴のサイズ、日本工業規格の番号、日本工業規格の名称、JISマーク及び認証機関略号、認証番号、種類又はその記号、環境区分又はその記号、製造業者名(又はその略号)及び製造年月(又はその略号)を表示する。

11 関連規格

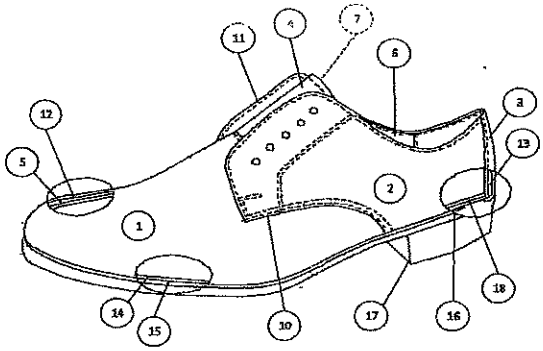
次にあげる関連規格の適用にあたっては、版指定のものを除き、最新版を用いる。

JIS K 6548	革の接面荷重試験方法
JIS K 6550	革試験方法
JIS S 5037	靴のサイズ
JIS T 8101	安全靴
JIS T 8103	静電気帯電防止靴
JIS T 8103-1983	静電気帯電防止用安全・作業靴

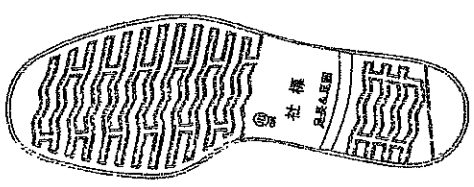
付表　使用材料一覧表

No.	部品名称	材料		規格
1	甲革つま革	牛クロムなめしスデア革	黒	厚さ 1.6 +0.2mm −0.1mm
2	〃 腰革	〃	〃	〃
3	〃 市革	〃	〃	〃
4	〃 ベロ	〃	〃	〃
5	先芯	厚織布	白	厚さ 0.5～1.1mm
6	腰裏(内・外)	不織布(横引き)	濃グレー	厚さ 0.5±0.2mm
7	ベロ裏	〃	〃	〃
8	ハトメ裏補強	不織布		厚さ 0.3±0.1mm
9	靴紐	綿 ロー引き 丸	黒	長さ 75±3cm
10	甲縫糸 (上)	合成繊維	黒	#20
11	〃 (下)	〃	〃	#30
12	先芯	樹脂製		厚さ 1.3±0.3mm
13	月型芯	再生革		厚さ 1.5±0.2mm
14	中底	ファイバーボード(導電繊維入り)		厚さ 2.0～3.0mm
15	中物	スポンジ (導電性)		厚さ 1.5mm
16	不錆芯	鋼製		厚さ 1.0±0.2mm
17	表底	導電性合成ゴム	黒	表6による。
18	中敷	ビニール半製	黒	JISマーク、認証番号入
その他		接着剤、仕上剤、包装紙、保形材、静電靴試験票		

付図1　各部位



付図2　底表匠



付図 3　　静電靴試験票 及び 使用説明書

(表)

静電靴試験票			
品　名		型番 電気抵抗R1 10 Ω～1kΩ	
レ	静電靴着用	合格	R1 [illegible] Ω R2 [illegible] Ω
	一般靴着用	不合格	R1 [illegible] MΩ R2 [illegible] MΩ
試験者名		[illegible]	
電気抵抗値		測定器使用(抵抗値)	
		左：	右：
検査年月日 検査担当者			
着用年月日		年　月　日	
所　属			
氏　名			

[illegible]

株式会社 シ　モ　ン

(裏)

[illegible]

保 安 帽 仕 様 書

［ レンジャーT型 ］

下田地区消防組合

1．使用材料

各等の材料及び規格は、次の通りとする。

名称	品名	規格	用途（別図番号）
帽体	本体	ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂（強化プラスチック製）	帽体
	徹章	スコッチマーク（等）小	徹章
	反射テープ	シルバー３０mm	
	消防本部名	消防本部所定の文字を入れる	別途指示による
	留付金具	黄銅製ニッケルメッキ半月型	留付金具
	外周緩衝	幅25mm・厚さ1.5mm 黒色ゴム	外周緩衝用
装着体	ハンモック	ポリエチレン成型品	ハンモック
	通線リベット	ポリエチレン又は、同等以上の強度を有する合成樹脂か、金属で防錆処のもの又は、錆止め加工を施したもの	ハンモック取り付け用
	衝撃吸収ライナー	発泡スチロール	衝撃吸収材
	ヘッドバンド	ポリエチレン成型品幅約 50mmの塩化ビニール製レデー付	ヘッドバンド
顎紐	顎紐	ナイロン直編・黒色・幅18mm	顎紐
	顎紐止め金具	ポリエチレン成型品	顎紐止め用
	顎紐着脱具	ポリアセタール成型品（黒色）丸環	顎紐着脱用
	顎当て	黒色ポリエチレン成型品	顎当て

2．徹名表示

若相して左右の反射テープ上に、「下田消防」と表示する。左読み黒で、文字を入れる。

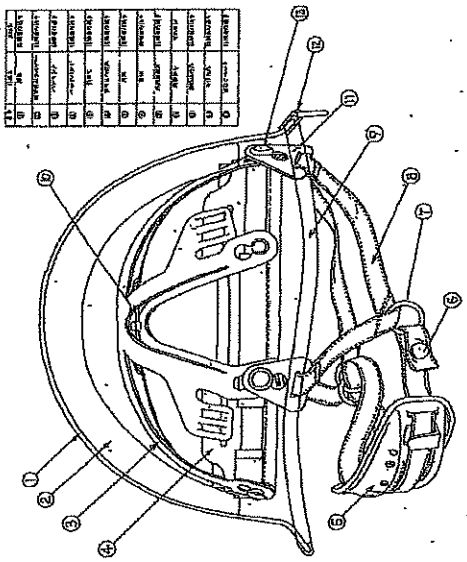
3．階級線

帽体に階級線（赤色）を巻く。

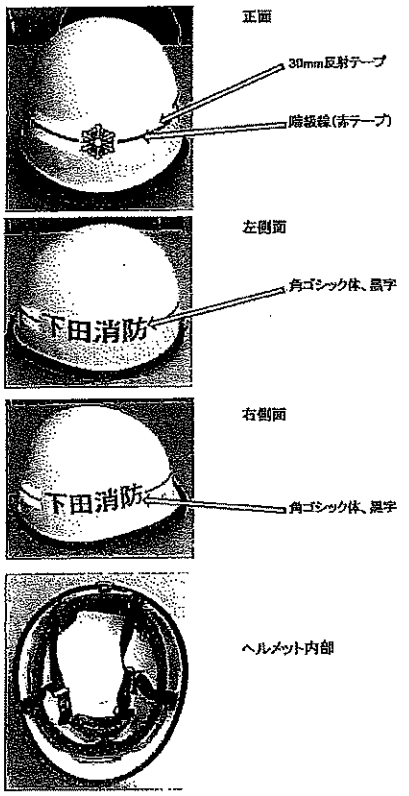
階級については、指示に従うこと。

4．あごひも

あごひもは450mmで、丸環タイプで使用中に保安帽が脱落したり、ぐらついたりしないように確実に締められるものとすること。



保 安 帽 仕 様 書



墜落制止用器具　仕様書
[NEO-R1-Z 型]

下田地区消防組合

1．適用範囲

本仕様書は、高所作業ならびにこれに伴う昇降時において、万一の墜落を防止するために使用する肩ベルト型墜落制止用器具について適用します。

2．形状及び寸法

形状及び寸法は付図の通りとします。

3．材　料

墜落制止用器具に使用する主な材料は下表の通りとします。

表1　部品の材料

部　品	材　料
肩ベルト	合成繊維を用いた細幅帯のベルトを使用する。
スライドバックル	ＪＩＳ Ｈ4000（アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条）Ａ2014、またはこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
Ｄ 環	ＪＩＳ Ｇ3101（一般構造用圧延鋼材）ＳＳ400、またはこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
連結金具	ＪＩＳ Ｇ3101（一般構造用圧延鋼材）ＳＳ400、またはこれと同等以上の機械的性質を有したものを使用する。
カラビナ	カラビナ本体は、ＪＩＳ Ｈ4140（アルミニウムまたはアルミニウム合金鍛造品）またはこれと同等以上の機械的性質を有したもので、オートロック式を使用する。
ロープ	合成繊維製ロープを使用する。
ショックアブソーバ	合成繊維製ベルトを使用する。
すべての材料は、傷・割れ・錆・その他の欠点が無く、金属部の表面は平滑に仕上げ、耐食性の処理を施す。	

4．構　造

安全帯の各部の構造は下表の通りとし定す。

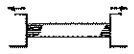
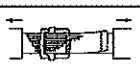
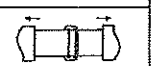
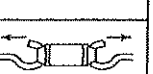
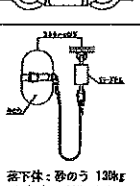
表2　部品の構造

部　品	構　造
肩ベルト	細幅帯ベルトの一端にバックルを取り付け、他端はほつれ止め加工を施す。
スライドバックル	誤掛入防止タイプのスライド式とする。
Ｄ 環	継ぎ目のない一体鍛造製で、ベルトとの接続部分には摩耗防止の措置を講じる。
連結金具	継ぎ目のないものとする。 表面にはナイロンコーティングを施したものとする。
カラビナ	かぎ部は２つ以上の連続した操作によらなければ外れない構造とする。 ロープの抜ずれを防止するためロープずれ防止ゴム環を取付ける。
ロープ	キンクが起きないブレードロープを使用する。 ロープの一端にショックアブソーバを、他端にはカラビナを連結し、その取付部には摩耗防止の措置を講じる。
ショックアブソーバ	墜落制止時に個体を緩和する機能を有し、一端には肩ベルトと連結するための連結金具を、他端にはロープを連結するためのＤ環を取付けた構造とする。

5．性　能

墜落制止用器具の性能は下表の通りとします。

表3　性能

試 験 項 目	試 験 方 法	規　格　値
性能一般	墜落制止用器具の各部は次の規格値に適合するものとする。 なお、繊維製品の引張強さは規定強度の５０％までは毎分３００mm以内とし、それ以上は毎分１５０mm以内とする。また、金属製品の引張速さは毎分２５mm以内とする。	
肩ベルトの強さ		１６．０ｋＮ以下で破断しないこと。
バックル連結部の強さ		８．０ｋＮ以下で破断、またはその機能を失う程度に変形しないこと。
Ｄ環の強さ		１１．５ｋＮ以下で破断しないこと。
連結金具の強さ		
カラビナの強さ		１１．５ｋＮ以下で破断、または外れ止め装置の機能を失わないこと。
ロープの強さ		１５．０ｋＮ以下で破断しないこと。
ショックアブソーバの強さ		
組合せ品の耐衝撃性および耐遮性能	 落下体：巻のう 100kg 自由落下距離：1.6m	衝撃荷重：４．０ｋＮ以下であること。 （２．２ｋＮ以上のアベレージとする。） ショックアブソーバの伸び： １．２m 以下であること。

6、表 示

下記事項を墜落制止用器具の胴ベルトおよびショックアブソーバの適当な箇所に、容易に消えない方法で表示します。

(1) 胴ベルト

・製品名	墜落制止用器具
・製造年月	例：１９－０８
・製造番号	例：０００００１
・製造者名またはその略称	ＦＵＪＩＦ－ＤＥＮＫＯ

(2) ショックアブソーバ

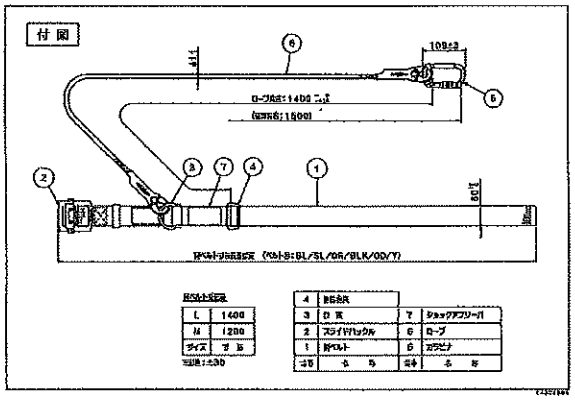
・種類	胴ベルト型
・ショックアブソーバの種別	第一種
・使用可能質量	例：１３０ｋｇ
・最大自由落下距離	例：１．８ｍ
・落下距離	例：３．７ｍ
・製造者名またはその略称	ＴＳＵＹＯＲＯＮ

7、包 装

納入の際は１袋毎に紙箱に納め、輸送する際には適当な数量を荷造りします。

8、その他

D環(FL-23G)とD逆止め(LF-N5G)を墜落制止用器具の右腰部分に装着した状態で納品すること。



防寒衣仕様書

下田地区消防組合

下田消防本部職員防寒衣仕様書

1. 総則　この仕様は、下田消防本部職員防寒衣について規定する。
2. 型式　ボンバージャケット（パイロット型）
　形状は別図１の通りとする。
3. 使用材料

材料名	規格	用途
表地	A　T-85569　シルモンドツイル　C／岩黒 B　T-85559　シルモンドツイル　C／杢グレー ポリエステル100%　透湿・超発水加工・帯電防止	表地A　前身頃　後身頃　袖 前立て　ポケット　見返し 衿　　カフス　フラップ ウエストベルト 表地B 両腰ポケット箱底裏　肩章裏
裏地 中綿	<タフタ>キルティング 4.5ｃｍ／ダイヤ角 60g／m 中綿（ポリエステル100%）使用 中綿はいずれもサンステート 及び繊維化成シンテックスを両面に使用すること。	前身頃　後身頃　補強
芯地	<５１８>ドミット芯　８０ｇ 中綿使用 ポリエステル１００%	前見返し　袖口タブ 前立て　フラップ 衿　　ウエストベルト
ジャージ	リブ	衿（内側表）
紐	ドット紐　1.5ｃｍ／表地と同色	前立て　フラップ
ファスナー	№4　VSOP	前身頃中心あき
ゴム	平ゴム（ハード）5.5ｃｍ／巾 平ゴム（ハード）4.5ｃｍ／巾	ウエストベルト 袖口
縫糸	５０番　ポリエステル100% 表生地に同色	地縫い　ステッチ

4. 縫製条件
（1）裁断は地の目まがりのないよう正確に裁断すること。
（2）縫い代は基本的に 1cm とすること。
（3）針数 3cm 間に地縫い　１８針～１４針　ステッチ１８針～１４針
（4）目とびや縫いはずれのないこと。
（5）縫始め、縫い終わりは完全に返し縫すること。
（6）上糸、下糸のつれ、たるみのないようにすること。
（7）糸くずの始末をきちんとし、ていねいに仕上げること。

5. 縫製

衿	・前身頃左右前立延長線上に衿をつける。 ・ ジャンパー本体の衿表にリブを付ける。（図参照） ・表衿にドミット芯を入れ、芯押さえステッチをする。
前身頃	・ 前中心は４号ビスロンオープンファスナー付き。 ・ 上前身頃左右に前立てを縫着し、ファスナーをおおう。 ・ 上前身頃肩線中心より切替パネル線を入れる。 ・ 左右腰ポケットはフラップ付き斜めポケットを付ける。 ・ フラップ中心にドット釦 15m/m　１ヶ付きでとめる。
後身頃	・後衿ぐりより 25cm の位置を切替えＶ字型変形ヨークとし蛍光パイピングを挟み縫いとする。
裾	・ 5.5cm／巾のベルトを付ける。 ・ 後から左右脇にかけて 55cm／m 平ゴムを入れシャーリングにする。
前立て	・ 上前身頃に前立てを付ける。 ・ 前立て際にドット釦（1.5cm／）６ヶつける。
見返し	・前身頃の衿付位置より裾までつける。
肩章	・ 袖付部より長さ 15cm、巾 5cm の肩章をつける。 ・ 袖付部より 8cm の位置で肩章を本体肩部に縫い付ける。 ・ 肩章先端をドット釦 1.5cm／１ヶ付きでとめる。
袖	・ 三枚袖 ・ 袖口は 60g／m 中綿入りのキルティング加工のものを使用する。 ・ カフス 5cm 巾で 4.5cm／巾の平ゴムを入れる。 ・ 共布タブをつけ、マジックテープを縫着し、アジャストする。
袖ポケット	・左袖に横 5cm 縦 14cm のペン差しポケットをつける。（２段にする）
内ポケット	・左に横１４cm 縦１４cm のファスナー付ポケットをつけ、右に横１４ｃｍ縦１１ｃｍのファスナー付ポケットをつける。
裏見頃	・ 60g／m 中綿入りキルティング加工のものを使用する。 （4.5cm／角ダイヤ型キルティング） ・両面シンデックスを使用すること
ステッチ	・ 衿まわり、前立て、ヨーク、後ろパネル線、袖付、肩線 ・ ファスナー付、ポケット、カフス、タブ、ウエストベルト ・ フラップ
中とじ	・肩、衿ぐり、袖ド、裾ド
衿吊り 片布 品質表示	・指定位置につける。

6. サイズ表（出来上がり寸法　：　単位 cm）

	M	L	LL	3L	4L
肩幅	58	60	62	64	66
バスト	132	136	140	145	150
袖丈	57	59	61	63	65
着丈	65	68	71	71	73
裄丈	86	89	92	95	98
適応身長	～165	170	175	180	185

7. その他
（1）落札者は納品の際に表生地ＡＢの出荷証明書を提出する事。
（2）サイズについては、上記サイズ表の通りとするが、ゲージ版を使用し個別採寸を行う事とする。
（3）片袖は、氏名片袖とする。
（4）バックプリント　背中へ消防本部名（本部指定色で指定文字）を入れること。
　詳細は、落札者と打合せをする事とする。

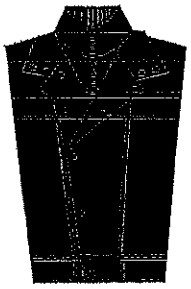
数量　：　着（下田消防本部仕様）

納入期限：　令和　年　月　日

納入場所：　下田消防本部指定場所

別図１







背ワッペン



消防吏員用雨衣仕様書

下田地区消防組合

1 総 則

(1) この仕様書は、下田地区消防組合として購入する雨衣について定めるものとする。

(2) この雨衣に使用する材料、付属品は全般にわたって十分検査がされ、この仕様書のすべてを満たすものであること。

(3) この仕様書の細部については、下田地区消防組合の指示を受けるものとする。

(4) この仕様書の内容について疑義が生じた場合は、下田地区消防組合下田消防本部総務課と協議の上、解決すること。

(5) サイズは表1寸法表のとおりとする。

納品場所	下田地区消防組合の指定場所
数 量	・上衣 着・ズボン 本
納入期限	令和 年 月 日

2 品 名　消防吏員用雨衣
上 衣：AZ-56308 ネイビー／オレンジ
ズボン：AZ-56304 オレンジ

3 型 式

(1) 上衣　立体フィットフード（収納式大型フード）、カットレス仕様（肩部分）、左右YKK止水ファスナーポケット、二重前立、前ファスナー式、超光輝度マイクロプリズム反射付（ISO20471適合品を使用）、カフス底縁ゴムシャーリングとしマジックテープアジャスター付とする。

(2) ズボン　ベルトループ仕様、シームレス仕様（後ろの継目）左右脇止水スルーポケット、ロングボトムジッパー式（裾）、高輝度マイクロプリズム反射付（ISO20471適合品を使用）、

(3) その他
人工血液バリア性はクラス6（JIS T 8060 D 法）
ウイルスバリア性はクラス6（JIS T 8061 D 法）

(4) 使用生地
三層ミニリップ（遮炎・防水・透水・防風・低結露）
ナイロン100%

(5) 透湿性・防水性
防水性（耐水圧）　30,000mmH₂O 以上
透湿性（ムレにくい）16,000g/m²・24hrs 以上

4 縫製条件

(1) ステッチ部分は必ず目貼りテープを施すこと。

(2) 糸調子は、縫い目が優良で、上下糸ともにツレ、タルミがないこと。

5 その他

(1) 指名業者は、入札前に製品見本を提出して下田地区消防組合の承認を受けること。

(2) 各個人のサイズごとに上衣、ズボンを組み合わせすること。

(3) 落札業者は、各個人をサイズゲージサンプルで採寸すること

(4) 検収後であっても、生地、付属品及び寸法等縫製上の欠陥が認められたときは、受注者の責任とし、無償で修理又は交換すること。
疑問点が生じたときは、必ず担当者と綿密に打合せするとともに、仕様書記載以外の縫製にあっても、縫製をもってあたること。

【表1】サイズ表

上衣

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
着丈	74.5	76.5	78.5	80.5	82.5	82.5	84.5
裄丈	84	87	90	93	96	99	99
胸囲	112	118	124	130	136	142	148

ズボン

	S	M	L	LL	3L	4L	5L
ウエスト	66~76	72~82	78~88	84~94	92~102	100~110	108~118
丈下	72	75	78	82	88	84	86

【イメージ写真】

（上衣）



（ズボン）



【背文字デザイン図】



※反射プリント